

人文学報

No.516-10

表象文化論

Masculinity and the Culture of Investment:

A Study of George Melbury in *The Woodlanders*..... Miyuki Kamezawa (1)

バンド・デシネとアダプテーション..... 古永 真一 (11)

金枝をもつアフロディーテの誕生

——「詩篇1」をいかに読むかについての試論 三宅 昭良 (29)

「蛇足」から読む桑原武夫「第二芸術」

——俳句そして／あるいは芸術の教育への問い 福田 浩之 (66)

首都大学東京人文科学研究科

2020年3月

2019年度 表象文化論教室彙報

学事日程

2019年

- 4月 2日(火) 表象文化論分野ガイダンス
- 6月 28日(金) 卒業論文中間報告書提出、修士論文中間報告書提出
- 7月 14日(日) 大学入試説明会、大学院入試説明会
- 8月 17日(土) 大学入試説明会
- 9月 24日(火) 大学院入試(博士課程前期)
- 10月 3日(木) 卒業論文ガイダンス(3年生対象)
- 10月 24日(木) 第1回所属決定ガイダンス(1年生対象)
- 11月 8日(金) 第2回所属決定ガイダンス(1年生対象)

2020年

- 1月 10日(金) 修士論文提出
- 1月 14日(火) 卒業論文提出
- 1月 30日(木) 修士論文口述試験
- 2月 18日(火) 大学院入試(博士課程前期)
- 3月 21日(土) 卒業式・学位授与式

学生研究活動

【卒業論文】

- 安部 桃世 「「おいしそう」をつくる——『dancyu』の目で見るおいしさ」
- 安藤 文香 「サブカルチャーの物語における多重人格キャラクターの機能と変遷」
- 石間 友輝 「『ONE PIECE』が読者に与える影響」
- 上田茉衣子 「萩尾望都『半神』——片割れの死による成長物語」
- 植田 雅啓 「是枝裕和「誰も知らない」が投影する「家族」と生活」
- 木戸健太郎 「消費社会における消費者の欲求と寄生する広告の変容」
- 才田 理加 「ロック・フェスティバルの発展におけるコミュニケーションの変化——文化を「共創」する時代」
- 齊藤 充伸 「2010年代の『少年ジャンプ』におけるスポーツ漫画の展望」

- 榎木 渉太 「『いき』の構造』の方法について」
 島津 花 「外傷的イメージ論——アンディ・ウォーホル『青い電気椅子』を中心に」
 杉野 真凜 「〈歌う〉身体と〈きく〉身体——桑田佳祐の歌唱を題材に」
 竹森 将太 「マジック^{マジック}の文化論」
 遠山あかり 「『ラスト・ワルツ』研究」
 堀 葵衣 「インスタグラムの女子化について」
 三上 絢子 「ニコラス・ウィンディング・レフン論——残虐と沈黙」
 三原 千佳 「現代のアーティストはどのようにしてモネを解釈したのか」
 渡邊 瑠美 「川上弘美論——異類・不定形の世界・読者」

【修士論文】

- 井関 慶牙 「都市中心部の夜景から感得される「崇高」——現代の東京タワー展望台からの眺めを出発点にして——」
 斎藤 沙莉 「女性誌における男性を消費するまなざし」

教員研究活動

赤塚若樹

[論文]

「ブラザーズ・クエイと「東欧的なもの」」, 『人文学報』第 515-10 号, 2019 年 3 月, pp. 1-15.

亀澤美由紀

[論文]

"A Note on *The Trumpet-Major*, a story with a disclaimer" 『人文学報(表象文化論)』515-10 号, 2019 年 3 月, pp. 59-67. (単著)

『『アート セックス ミュージック』とスロッシング・グリッスル再発見——コージー・ファニ・トゥッティ回想録』『FORMES』(首都大学東京 人文科学研究科表象文化論分野 南大沢言語文化研究会) 2 号, 2019 年 11 月, pp. 62-68. (共著)

角井誠

[翻訳書]

ロベール・ブレッソン『彼自身によるロベール・ブレッソン——インタビュー 1943-1983』法政大学出版局、2019 年。

[書評・解説]

「評伝の慎ましさと野心——須藤健太郎『評伝 ジャン・ユスターシュ——映画は人生のように』」、『図書新聞』第 3409 号、2019 年 7 月。

「新刊紹介『彼自身によるロベール・ブレッソン インタビュー1943-1983』」、『REPRE』第 37 号、2019 年 10 月。

「ロベール・ブレッソン『湖のランスロ』」、『湖のランスロ』Blu-ray リーフレット、IVC、2019 年 10 月。

[発表・講演]

「ジャック・ベッケル『エストラパード街』解説」Gucchi's Free School、なかの ZERO、2019 年 3 月 9 日。

「ジャック・リヴェット『我らの親父ジャン・ルノワール』解説」(須藤健太郎、角井誠)、「ジャン・ユスターシュ特集——映画は人生のように——」、アンスティチュ・フランセ東京、2019 年 5 月 19 日。

「パリの映画史——現実と夢のあいだ」獨協大学フランス語学科公開講座、2019 年 6 月 6 日。

「映画における俳優演出を考える」首都大学東京オープンユニバーシティ・プレミアム講座、2019 年 11 月 7 日。

[主催・司会] ロラン・グイド「機械的リズム——戦間期フランスにおける「ガールズ」、フォトジェニー、映画」首都大学東京、2019 年 11 月 18 日。

[翻訳]

『アフリカ映画の世紀 シンポジウム「越境するアフリカ映画——新たな連携をめざして」サイドブック』、国際交流基金、2019 年 8 月 (20-21 頁、26-27 頁担当)。

アーロン・ジェロー「上野耕三と「理論と実践」」、『山形国際ドキュメンタリー映画祭 2019「現実の創造的劇化」戦時日本ドキュメンタリー映画再考 カタログ』、2019 年 10 月、29-30 頁。

パトリック・ラッセル「イギリス・ドキュメンタリー運動の遺産」、『山形国際ドキュメンタリー映画祭 2019「現実の創造的劇化」戦時日本ドキュメンタリー映画再考 カタログ』、2019 年 10 月、38-40 頁。

中嶋泉

[著書]

『アンチ・アクション——日本戦後絵画と女性画家』ブリュッケ、2019 年。

[口頭発表]

「草間彌生 ニューヨークー東京」、連続公開講演会 ニッポンとアメリカ、立教大学アメリカ研究所主催、立教大学、2020 年 1 月 11 日。

“Destroying to Survive: Niki de Saint-Phalle and Yayoi Kusama” in *Séminaire international: Crise et Renaissance au Japon*, University of Rennes, Rennes, March 11, 2020.

福田貴成

[学術発表]

「音を見る／音が見える」快樂の系譜——1958 年／1881 年」、「音と聴覚の文化史」2019 年度第 2 回共同研究会、国際日本文化研究センター、2019 年 10 月 26 日。

古永真一

[論文]

「ホロコーストとマンガ表現」、『人文学報』第 515-10 号、2019 年 3 月、pp.69-84.

[書評]

以下の週刊誌において毎回三冊のマンガの書評を担当。『週刊ダイヤモンド』, 2019, 107(12), p.101. 107(21), p.85. 107(31), p.109. 107(39), p.111. 107(48), p.97.

三宅昭良

[論文]

「一九一九年——シュペングラーからイエイツへ、そして」土岐恒二著・吉田朋正編『照応と総合』（小鳥遊書房 2020 年 2 月）、pp. 848-68。

「金枝をもつアフロディーテの誕生——「詩篇 1」をいかに読むかについての試論」『人文学報』516-10 号 2020 年 3 月、pp.29-44。

[その他]

「回顧と展望 アメリカ詩の研究」『英語年鑑』（研究社 2020 年 1 月） pp. 21-25。

高本教之

[論文]

「俊寛はなぜほほえむ?——近松門左衛門作『平家女護島』の歌舞伎演出について』、『人文学報』第 515・10 号、2019 年 3 月、104-126 頁。

「にらむ俊寛を!——近松門左衛門作『平家女護島』再考」、『FORMES』(首都大学東京 人文科学研究科 表象文化論分野 南大沢言語文化研究会) 第 2 号、2019 年 11 月、22-46 頁。

[共編著]

「リヒトホーフ——初級ドイツ語文法」(松鶴功記、高本教之、若林恵、新本史斉、若松宣子、Franz Hintereder-Emde, Angelika Emde)、朝日出版社、2020 年 1 月。

執筆者

亀澤 美由紀	首都大学東京大学院	人文科学研究科	教授
古永 真一	首都大学東京大学院	人文科学研究科	准教授
三宅 昭良	首都大学東京大学院	人文科学研究科	教授
福田 浩之	首都大学東京大学院	人文科学研究科	博士課程在籍

大学院生の投稿論文については査読制度を導入している。査読は本教室の教員が行なうことを原則とするが、必要に応じて学内外の研究者に依頼することもある。査読委員は1論文につき2名とし、その結果にもとづき、教室として掲載の可否を決めている。

令和2年3月19日 印刷

令和2年3月19日 発行

「人文学報」 第516-10号

非売品

東京都八王子市南大沢1丁目1番地

編集・発行者

首都大学東京人文科学研究科
人文学報編集委員会

代表者 西 郡 仁 朗

有限会社青史堂印刷
神奈川県相模原市南区古淵6-28-37

Jim bun Gaku ho No.516-10

Not for Sale

Published

March 19, 2020 ©

by

Editorial Board of *Jim bun Gaku ho*

(Chief Editor Jiro Nishigori)

Tokyo Metropolitan University

Minami-Osawa 1-1

Hachioji City

Tokyo, Japan

Printed by

SEISHIDO

Minami-ku Kobuchi 6-28-37 Sagami City Tokyo, Japan

THE JOURNAL
OF
SOCIAL SCIENCES AND HUMANITIES
(JIMBUN GAKUHO)

No.516-10

Studies of Culture and Representation

- Masculinity and the Culture of Investment:
A Study of George Melbury in *The Woodlanders* . . . Miyuki Kamezawa (1)
- Comics and Adaptation Shinichi Furunaga (11)
- Birth of an Aphrodite 'Bearing the Golden Bough':
An Essay on How 'Canto1' Can Be Read Akiyoshi Miyake (29)
- Reevaluation of "The Second-Class Art" Controversy:
Takeo Kuwabara Questioning the Use of Haiku in Art Education
. Hiroyuki Fukuda (66)

The Graduate School of Humanities
Tokyo Metropolitan University

March 2020